

令和 5 年 度

環 境 経 営 レ ポ ー ト

令和 5 年 8 月 ～ 令和 6 年 7 月

令和 6 年 8 月 2 6 日 作 成

ふるさと 故 郷 つ く り ひ と 人 つ く り

総 合 建 設 業

株 式 会 社 **ムラナカ**

環 境 方 針

弊社は、土木・建設業を主な事業として運営するにあたり、中山間地域の特性及び地域環境への関連を考慮し、土木・建設工事の事業活動において自然環境との調和及び環境負荷の低減・改善に取り組み、環境改善活動を行います。

又、中山間独特の自然美・優しさ・楽しさを我々の子孫が追求する事が出来るよう環境作り及び地域社会への環境保全奉仕活動を行います。

この活動は弊社のみならず、協力会社等と協議・協力し、チーム ムラナカを立ち上げ全員で取り組みます。

環 境 保 全 へ の 行 動 指 針

1 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 建設資材の省資源・廃棄物の減量・再生利用の推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 事務用紙類の削減及び、裏刷りの奨励
- ⑤ グリーン調達の推進
- ⑥ 地域の道路・公園・公共施設等の清掃活動の推進
- ⑦ 受託するそれぞれの業の遂行において、地域住民に迷惑・負担等をかけないよう適切な作業の推進を関連する事業者へ要請し、共に環境保全に努めます

これらについて環境目標・活動計画を協力会社共に定め、定期的に見直しを行い継続的な改善に努めます。

2 環境関連法規制や、弊社が約束したことを厳守します。

3 環境方針は、全従業員に周知するとともに社外に公表します。

制定日 平成28年1月21日

代表取締役 前 川 利 計

《 I : 登録事業所の概要》

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 ムラナカ

代表取締役 前川 利計

2. 所在地（認証・登録の適用事業所）

本社 〒771-2302

徳島県三好市三野町加茂野宮1311-1

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 田中 隆美

TEL 0883-77-2137

E-mail tanaka1@eagle.ocn.ne.jp

環境事務局長 村中 勇治

TEL 0883-77-3434

E-mail yuji.muranaka@oregano.ocn.ne.jp

4. 事業内容

土木工事・舗装工事・水道施設工事・解体工事業

5. 認証・登録の範囲

組織：事務所(本社) 全活動（上記4「事業内容」に示すもの）

なお、産業廃棄物収集運搬業の許可を有するが、自社の産廃（元請工事に係るもの）のみの収集運搬であることから、活動には含めていない。

6. 法人設立 昭和39年8月1日 資本金20百万円

徳島県知事許可（特-04）第 773号

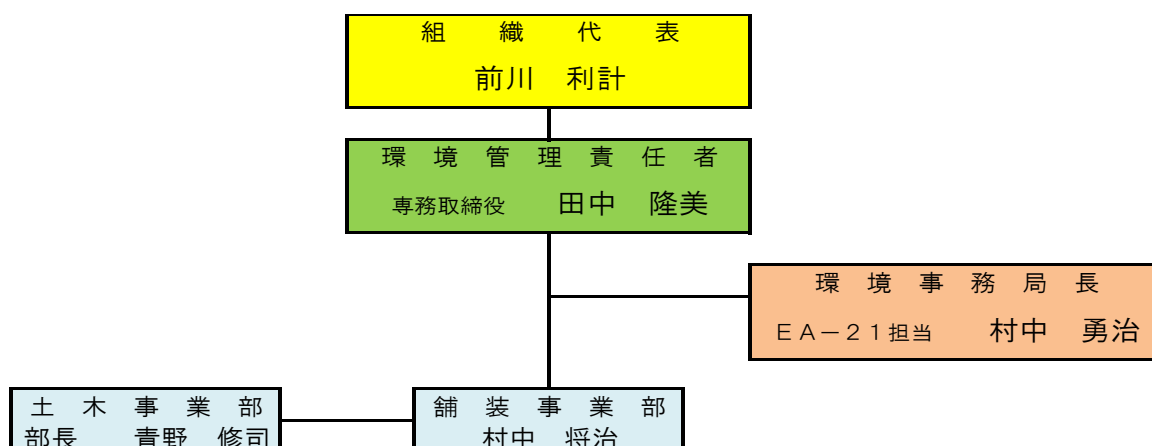
7. 事業規模

活 動 規 模		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売 上 高		百万円	147	174	186
従 業 員		人	10	10	10
床 面 積		m ²	233	233	233
資材置場		m ²	600	600	600

8. 事業年度

8月～7月

9. 組織



担当者	役割	権限及び責任
組織代表	環境方針の構築	環境方針を構築し誓約する
	周知及び広報	環境方針を全従業員に周知し、協力会社及び地域社会に広報する 環境経営レポートを承認する
	任命	環境管理責任者・環境事務局長・各実施担当者の任命
	設備投資	管理及び実施に必要な、費用・設備・時間・技能・知識・情報を用意する
	分析及び評価	活動全体を分析評価し、関係者全員に周知する
	経営における課題チャンスの明確化	明確にする
管理責任者	環境目標の構築	環境保全経営の目標を制定し管理する
	環境活動計画の構築・実施	環境活動計画を構築し実施を管理する 環境活動計画書、環境教育・訓練（緊急事態を含む）、問題点は正など
	法規と条例	環境関連の法規制の要求事項を抜粋し、要求事項簿を作成する 遵守評価を実施する
	報告	環境活動への実施結果を、組織代表に報告する 環境経営レポートを確認し、組織代表に報告する
事務局長	事務全般	E A-21の事務局責任者
	管理	E A-21の、関係資料及び書類の管理保管
	集計	環境保全経営に必要な、マニフェスト及び伝票等の集計管理
	情報収集	活動するに必要な、情報及びカタログ等の収集
	備品購入	活動するに必要な、備品等の購入管理
	上水道の削減	上水道の削減に関する責任者（組織代表の代理人）
	購入電力の削減	事業所における電力削減の責任者（組織代表の代理人）
舗装土木事業部	広報・広聴活動	環境活動に関する協力会社及び地域社会との広報・広聴の窓口 環境経営レポートの作成・公開
	周知・広報	環境方針を全従業員に周知する
	意義	環境保全経営の意義と重要性を全従業員に説明する
	手順	環境活動を実施するにあたり、手順を全従業員に説明確認する
	協議	各手順を全従業員とミーティングする
	記録、報告	協議した結果を、文章化し管理責任者に提出する
	実施	環境活動計画に基づき環境活動を実施する
	緊急事態	災害等、緊急事態時における対処方法を全従業員と協議する
	緊急事態時の対応	緊急事態時の対応手順を作成し、全従業員に周知する
	訓練	緊急事態を想定し、訓練を実施してその結果を管理責任者に報告する
	問題点の記録	問題点が発生した場合、記録する
	問題点の協議	問題点を全従業員と協議し、是正案を見つけ記録する
	問題点の報告	是正案を文章化し、管理責任者に提出する
	問題点への対応	管理責任者の指示を受けて是正を行う
全従業員	環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 目標計画を踏まえ、自主的、積極的に環境活動に取り組む	

《Ⅱ：環境目標とその実績・評価》

当社における令和2年度（一部3年度）実績を基準とし、
令和5年度から6年度までの3年間の環境目標を掲げ、環境活動に取り組んでいます。
「令和5年度の目標とその実績」は以下のとおりです。

項 目	令和5年度	単位	令和5年度	評価	
	目標値		実績値	達成率	
二酸化炭素排出量の削減	113,971	kg-CO2	148,986	76%	×
内（事務所）	39,452	kg-CO2	46,304	85%	×
訳（現場）	74,519	kg-CO2	102,682	73%	×
廃棄物の削減	738	t	626	118%	○
水使用量の削減	402	m3	507	79%	×
再資源化の推進	100	%	99.9	100%	○
建設副産物の再利用の推進（再生砕石）	1,065	t	1,853	174%	○
グリーンパネルの積極的利用の推進	258	k g	270	105%	○
奉仕活動の推進	8	回	8	100%	○

※「建設副産物の再利用の推進（再生砕石）」、「グリーンパネルの積極利用の推進」は、「工事における環境配慮活動」の一環としての「グリーン調達」の推進を具体化したものです。

化学物質使用量については使用の実態がないため、目標を設定していません。

総合評価：

●社員の環境負荷削減への努力によって「廃棄物の削減等5項目」について目標が達成できました。
●目標が達成できなかった2項目のうち、
「二酸化炭素排出量の削減」については、受注量の増加や、受注内容による遠隔地の現場及び重機作業の増加などに伴い、前年度から排出量が1割強増加しています。今後、更新に当たっての低燃費型の車両・重機の導入や、省エネ運転の徹底が必要です。
「水使用量の削減」については、受注量の増加や現場状況により、目標には達成出来なかったが、前年度から使用量が1割強減少しています。今後、雨水利用と併せて、現場等の環境を整え、洗浄回数等の回数を抑えることが必要です。
●今年度は、令和2年度の実績を基準とした3年間の目標の2年目であり、今後とも、以下のとおりの令和4～6年度の目標に基づき、活動を推進します。
※目標値は、令和2年度（一部3年度）実績を基準とし、この基準値に対し、二酸化炭素・廃棄物・水使用量は毎年1%削減、グリーン調達は毎年1%の増加に設定。なお、奉仕活動は毎年8回で継続。

令和4年度～6年度の目標値

項目	単位	令和2年度 基準値	令和4年度 目標値	令和5年度 目標値	令和6年度 目標値
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	117,496	115,146	113,971	112,796
廃棄物の削減	t	761	746	738	731
水使用量の削減	m3	414	406	402	397
再資源化の推進	%	100	100	100	100
建設副産物の再利用の推進（再生砕石）	t	1,034	1,055	1,065	1,075
グリーンパネルの積極的利用の推進	kg	250	255	258	260
奉仕活動の推進	回	8	8	8	8

※二酸化炭素排出係数は四国電力の令和2年度調整後係数0.574kg-CO2/kWhを使用。
基本的に令和2年度実績を基準値。（水使用量、グリーンパネルは、令和3年度実績。）

化学物質使用量については使用の実態がないため、目標を設定していません。

《Ⅲ：環境活動計画とその実績・評価》

事業所

令和5年度 環境活動計画書・事業所(令和5年 8月1日～令和6年7月31日)

重点目標	具 体 的 活 動	担当	ス ケ ジュ ー ル												達成度 分析 年間	評価 年間
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
二酸化炭素 排出量の削減	室温冷房温度を28℃で管理	村中 勇治													B	電力の削減は、一人一人が節電について認識し行動しているが、目標の達成に向け、取組を徹底する。自動車燃料の削減は、エコドライブ・過積載の禁止・車両の点検等を心掛け、意識改革が進んでいるが、目標達成に向け、アイドリングストップをはじめより一層の徹底を図る。
	室温暖房温度を20℃で管理	村中 勇治													B	
	必要以外の消灯の実施	村中 勇治													B	
	照明機器の月一回の掃除	村中 勇治													B	
	相 乗 り の 推 奨	村中 勇治													B	
	アイドリングストップの徹底	青野													B	
水使用量の 削減	水道の蛇口をこまめに閉める	村中 勇治													B	受注量の増加や現場状況により、車両等の洗浄回数が増えたが、前年度の使用量に比べ1割強の減少となっている。雨水利用や、現場等の環境整備による洗浄回数等の抑制など、さらなる節水に努める。
	雨水の利用														B	
	洗車回数の削減														C	
廃棄物の削減 (事務用紙の削減)	事務用紙の裏刷りの励行	田中													A	事業所はウラ刷りの徹底・新聞広告のメモ用紙等が満足している。
	新聞広告をメモ用紙に利用	村中 勇治													A	
グリーン調達	グ リ ー ン 調 達 の 推 進	青野													A	達成しており、今後とも活動を継続する。

※ 部分は達成度分析月
※ 部分は上半期達成度分析月

評価
A 達成している
B ほぼ達成している
C まだ努力が足りない

現場

令和5年度 環境活動計画書・現場(令和5年 8月1日～令和6年7月31日)

重点目標	具 体 的 活 動	担当	ス ケ ジュ ー ル												達成度 分析 年間	評価 年間
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
二酸化炭素 排出量の削減	低燃費車両・重機の購入	村中													A	自動車燃料の削減は、エコドライブ・過積載の禁止・車両の点検等を心掛け、意識改革が進んでいるが、目標達成に向け、アイドリングストップをはじめより一層の徹底に努める。低燃費車両等の導入については、老朽化した現場移動用トラック1台をバンに更新するなど、順次入替の検討をしている。
	暖気運転30秒ルール	前川													A	
	アイドリングストップの徹底	前川													A	
	過積載の注意	前川													A	
	タイヤ空気圧月一回点検	前川													A	
	車輛週一回点検	前川													A	
建設副産物 再利用の推進	再生砕石・骨材の優先利用	青野													A	達成しており、今後とも活動を継続する。
廃棄物の削減	コンガラ・アスガラ処理は再生砕石プラントへ搬入	青野													A	リサイクルがほぼ満足した結果が出ており、今後とも活動を継続する。
グリーン調達	グリーンパネルの優先使用	青野													A	達成しており、今後とも在庫を勘案し、バランスのとれた発注を心掛ける。
奉仕活動の推進	ボランティア及びアドプト活動の推進	村中													A	年3回のアドプト活動、年5回のボランティア活動を実施しており、今後とも活動を継続する。
教育訓練			○		○		○		○		○			○	A	達成しており、今後とも活動を継続する。

※ 部分は達成度分析月
※ 部分は上半期達成度分析月

評価
A 達成している
B ほぼ達成している
C まだ努力が足りない

《Ⅲの2:次年度の環境活動計画》

事業所

令和6年度 環境活動計画書・事業所(令和6年 8月1日～令和7年7月31日)

重点目標	具 体 的 活 動	担当	ス ケ ジュ ー ル											
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
二酸化炭素 排出量の削減	室温冷房温度を28℃で管理	村中 勇治												
	室温暖房温度を20℃で管理	村中 勇治												
	必要以外の消灯の実施	村中 勇治												
	照明機器の月一回の掃除	村中 勇治												
	相 乗 り の 推 奨	村中 勇治												
	アイドリングストップの徹底	青野												
上水道量の 削減	水道の蛇口をこまめに閉める	村中 勇治												
	雨水の利用													
	洗車回数の削減													
事務用紙の 削減	事務用紙の裏刷りの励行	田中												
	新聞広告をメモ用紙に利用	村中 勇治												
グリーン調達	グ リ ー ン 調 達 の 推 進	青野												

※ 部分は達成度分析月

※ 部分は上半期達成度分析月

現場

令和6年度 環境活動計画書・現場(令和6年 8月1日～令和7年7月31日)

重点目標	具 体 的 活 動	担当	ス ケ ジュ ー ル											
			8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
二酸化炭素 排出量の削減	低燃費車両・重機の購入	村中												
	暖 気 運 転 30 秒 ル ー ル	前川												
	アイドリングストップの徹底	前川												
	過 積 載 の 注 意	前川												
	タイヤ空気圧月一回点検	前川												
	車 輛 週 一 回 点 検	前川												
建設副産物 再利用の促進	再生砕石・骨材の優先利用	青野												
廃棄物の削減	コンガラ・アスガラ処理は 再生砕石 プ ラ ン ト へ 搬 入	青野												
グリーン調達	グリーンパネルの優先使用	青野												
奉仕活動の推進	ボランティア及びアドプト活動の推進	村中												
教育訓練			○		○		○		○		○			○

※ 部分は達成度分析月

※ 部分は上半期達成度分析月

《V：環境関連法規制等の順守状況、法違反、訴訟等の有無》

法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです

法 規 名	該 当 す る 項 目	遵守評価
騒音・振動規制法・水質汚濁・大気汚染防止法	建設工事についての騒音・振動・水質汚濁・大気汚染に関する届け出、基準の順守	○
徳島県生活環境保全条例	建設工事についての騒音・水質汚濁・大気汚染に関する届け出、基準の順守	○
廃棄物処理法	産業廃棄物のマニフェスト管理及び処分業者委託契約等	○
三好市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	事業者による一般廃棄物の減量・処理	○
建設リサイクル法	コンガラ・アスガラ等の再資源化	○
資源有効利用促進法	再生砕石・再生密粒度アスファルトの利用等	○
河川法	工事現場において、汚濁水等の河川への流出の防止	○
オフロード法	排ガス対応重機の使用等	○
フロン排出抑制法	管理者の判断基準に基づく措置の実施（簡易点検等）、特定解体工事元請業者の確認及び説明等	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス排出量削減（ガソリン・軽油・灯油・LPGガスの消費量の削減）	○
徳島県脱炭素社会に向けた気候変動対策推進条例	温室効果ガス排出量削減 環境マネジメントシステムの導入等	○
省エネ法	エネルギー使用合理化の努力、判断基準等に基づく措置の実施	○
浄化槽法	保守点検・清掃・法定検査等	○

環境関連法規制等の遵守状況を定期的に評価した結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。又、過去3年間にわたって関係当局による違反等の指摘や訴訟、近隣からの苦情もありませんでした。

《VI：代表者における全体の評価と見直し》

全体として、会社全体の売り上げが増加しており、二酸化炭素排出量・水使用量が目標未達成であった。化石燃料や水の使用量の削減活動について、社員の再教育を徹底して、目標の達成に向け頑張っていきたい。

環境方針、環境目標・環境活動計画、実施体制等については、見直しの必要はない。

（事務所）

CO2削減に関し、電力使用量は前年度に比べて微減しているが、今後も、空調、照明使用の効果的な削減に取り組む必要がある。化石燃料については、受注内容により遠隔地の現場が増えた結果、社員の努力にもかかわらず、ガソリン等が増加した。事務所全体として、取組の工夫が必要である。

（現場）

化石燃料については、受注内容により遠隔地の現場や重機作業が増えた結果、ガソリン・軽油が増加した。社員全体の工夫と努力で、消費量を減少させたい。さらなる工夫が必要である。廃棄物は、工事内容より目標を達成したが、受注内容にも因るのでデータの分析が必要である。グリーンパネルは、在庫を使い果たしたため、目標は達成できたがバランスのとれた発注を心掛ける必要がある。

令和6年8月20日

代表取締役 前川 利計